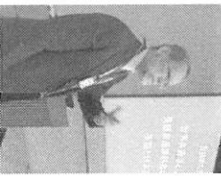


広島大ライオンクラブがシンポジウム 研究者への英語アカデミックライオンズ支援

参加者からは英語アカデミックライオンズが支援に関する他大学への取り組みや、抱えている課題について知ることもできる。大変貴重な機会であったと好評を得た。特にグループディスカッションでは、運営者の視点に立つて企画した。シンポジウムには、全国の大学や研究機関企業から JRA を中心に、英語アカデミックライオンズ支援に携わる担当者や、英語論文執筆における当事者である研究者など、約 40 人が参加した。



基調講演者の
カリ教授



サジェント氏がフアンリ
テートするグループ討議

午前には、学術英語学会・会長理事で、東大グローバルコミュニケーション研究センター長のトム・ガリ教授と、米国・ジョージタウン大学学術出版支援オフィスのゲインクタードであるキヤロル・サジェント氏を招いて基調講演。午後は、阪大、北大、筑波大、広島大からそれぞれの大学での支援の事例報告や六つのグループに分かれてディスカッションが行われ、活発な議論が繰り広げられた。

広島大学ライオンズセンターは、シンポジウム「研究者に対する英語アカデミックライオンズ支援」組織的運営の視点から「をこのほど東広島キャンパスで開催した。全国の大学や研究機関に所属する、研究者に対する英語アカデミックライオンズ支援の取り組みや、抱えている課題について知ることのできる担当者が一室に集まり、支援の先進的な事例や課題について情報交換や意見交換をすることを目的とするもの。アカデミックライオンズに関する専門的な指導者の視点とにより、研究者向け支援の取組みでの事務的な運営者の視点に立つて企画した。

広島大、短期交換留学生が企画発表会 留学生の自助支援：ホームシック対策

広島大学短期交換留学プログラム (HUS △) の留学生が、東広島キャンパスの学生クラブで「アロカル・リダーシップ・プロジェクト：大学と地域の協働」留学生の自助支援：ホームシック対策」実践研究グループプロジェクト企画発表会を開催した。



発表する HUS A
プログラム留学生
発表へのフイバ
ックを贈く HUS A
交換留学生

発表を行った。留学生が 9 月末に日本に到着して 2 カ月が経過。現在、ホームシックを軽減するなどのために、地域との協働の企画について

多国籍グループの文化多様性を生かした検討が行われている。

「留学準備ガイド」「東広島紹介ビデオ」「西条タウンガイド」「世界の料理を紹介する西条インタラクティブマップ」など、留学生の視点から貴重なフイバックを得た。企画などから貴重なフイバックを得た。企画発表会には、学内の教員、大学院生、発表会は地域に公開され、地域企業や市議

現在「日本到着後 30 日サバイバルガイド」

を意義あるものにするため、貴重な映像を得